

加盟団体  
競技本部長 各位

公益財団法人全日本スキー連盟  
競技本部長 河野孝典  
(公印省略)

FIS タイミングブックレットの内容変更に伴う現行の公認タイム計測  
機器の使用期限と国内の SAJ 特別ルールについて (通知)

平素より本連盟の選手強化にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。  
タイム計測を必要とする全ての競技種目において、FIS タイミングブックレットの内容変更に伴い  
現行の公認タイム計測機器の使用期限が下記のとおりになりました。  
つきましては、関係各位への本書の展開と内容の周知をお願い致します。

記

Company name	Device model	Until season	Homologation number
AGIL	IMHP 870	2028	AGI.078T.09
ALGE	S4	2028	ALG.005T.10
LONGINES	TL5005	2028	LON.003T.10
MICROGATE	RACETIME2	2028	MGA.002T.11
OMEGA	OGM5005	2028	OME.001T.97
SEIKO	CT-400	2028	SEI.002T.11
SEIKO	CT-500	2028	SEI.084T.11
SEIKO	MPT-07	2028	SEI.075T.09

上記機種は、FIS カテゴリーレースにおいて、2028 年 6 月 30 日を以って使用できなくなります。

Company name	Device model	Until season	Homologation number
DIGITECH	MASTER 3	2029	DIG.087.14

上記機種は、FIS カテゴリーレースにおいて、2029 年 6 月 30 日を以って使用できなくなります。

実際のタイム計測は、1/100 秒単位で行いますが、メイン計測システムとサブ計測システムに誤差が無いか 1/1,000 秒単位で検証する必要があります。その検証の精度を上げるためには、更に精度が高い 1/10,000 秒単位で計測できる機能が必要ということで、現行公認タイム計測機器の使用期限が設けられました。

上記期限以降の 2028 年 7 月 1 日以降に開催いただく FIS カテゴリーレースには 1/10,000 秒が計測できる機能を有した機器の準備が必要となります。高額機器の為、機器を保有される皆様は、準備に苦慮されると存じますが、FIS の趣旨をご理解いただき、準備を進めていただけます様、お願い申し上げます。

なお、国内で開催される SAJ 公認大会（FIS 同時公認を除く）のタイム計測を必要とする全ての競技種目においては、SAJ の特別ルールとして上記機種の使用を 2033 年 6 月 30 日まで認めることとします。これは、2028 年に FIS 公認が終了する機種メーカーからの交換部品供給が 5 年を目途にしていることに基づきます。

以上